

ハザードマップの使い方

1

自宅周辺の危険な区域を確認しましょう

各種ハザードマップで、自宅周辺の危険な区域を確認しましょう。
浸水深が0.5m以上(床上浸水のおそれ)の区域や、土砂災害警戒区域内に位置している場合は、特に注意が必要になります。



2

避難所を確認しましょう

自宅から近い避難所を確認しましょう。避難所は災害によって開設状況が異なるため、それぞれの災害に対応した避難所を選定してください。



3

実際に避難所まで歩いてみましょう

確認した避難所までの道のりを自宅から実際に歩いてみて、危険箇所（転落防止柵がない水路、蓋がない側溝など）の確認や避難にかかる時間を確認しましょう。

危険箇所を避けて、なるべく安全な避難経路を選定してください。



さらなるステップ >>> **マイ・タイムラインに行動計画を書き込みましょう**

マイ・タイムラインをつくろう

マイ・タイムラインとは、台風や大雨が接近しているとき、余裕をもって安全に避難するために、自分自身がとる防災行動を時系列で整理、とりまとめる行動計画です。



町などから発表される防災・避難情報(この冊子のうら表紙、3ページ)をもとに、いつ・どのタイミングで、どのような防災行動をとるのかを考え、自分の家族や生活環境に合わせたマイ・タイムラインを作成しましょう。

新設 マイクランドサイン(大規模)

新設サインの設置に際しては、設置場所の選定・設置方法の検討・設置後のメンテナンス等、あらゆる関係者との連携が必要となります。

設置計画に際しては、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップの依頼

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップの依頼

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップの依頼

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

サインアップ(サインアップの依頼)は、必ずしもサインアップのみの対応で済む場合、設置後のサインアップとメンテナンスも必要となります。

このポケット内には、

洪水・土砂災害ハザードマップ

津波ハザードマップ

高潮ハザードマップ

マイ・タイムライン

が入っています。